月刊『カーサ ブルータス』
*Life Design Magazine

「えっ、知らないの？ 見てないの？」を世界中から集めました。

BRUTUS Casa.

1
2010 vol.118
JANUARY
定価880円

見たい、行きたい、欲しい！ 2009年の話題がこの一冊に。

建築・デザインのベストヒット100

クォン・サンウも登場！
鍋天国♥ほかほかの韓国、ソウルへ。

ジル・サンダー氏特別編集。
ユニクロ「+J」デザインの源。

アリス・ウォーターズの食べられる校庭。

— 天然ガス型エネルギー面的利用導入モデル事業費補助金事例 —

新千歳空港（北海道千歳市）

北海道を代表する空の玄関口。近年の国際線事業者の増加に伴い、従来の国内線ターミナルの西側に新たに国際線ターミナルビルを設置中。冬期間の暖房で強められた熱を空港ターミナルビルの冷房に利用する熱冷房エネルギーの利用や、開放の工夫を行って採れた地熱の天然ガスを利用したコージェネレーションの新設利用システムにより、廃熱を蒸熱・冷熱に変換して継続利用する方式でエネルギーを多能。天然ガス型面的利用システムの導入で全体で17.7%の省エネルギーとなり、22.1%のCO2削減を実現する予定。来春には国際線ターミナルビルがオープンし、その後順次施設設置などがオープンする。

浜江真（いずえ・かん）
1951年京都府生まれ。日本建築家協会賞10代会長。立命館大学理工学部土木工学科を卒業し、京都大学博士課程、ヤトロ工業研究所での勤務の後、1976年に出江家建築事務所所設立。「歌舞伎の未来」等著書多数。北海道都市文化デザイン研究所顧問も勤める。

中山眞琴（なかやま・まこと）
1955年北海道生まれ。北海道都市文化デザイン研究所長。多摩美術大学建築科を卒業し、多摩美術大学大学院建築デザインコースを修了。1989年に株式会社ナカヤマ・アーキテクツを設立。北海学園大学法学部講師も勤める。

山本潤（やまもと・のぼる）
早稲田大学卒業早稲田大学大学院修士課程科学研究科修了。一般社団法人都市ガス振興センター事業部部長兼同事業モデル普及団体グループマネジャー。

山本　北海道は、他にも札幌駅周辺の「地域熱供給」、札幌市中央卸売市場の約8000坪の熱を、天然ガスを機械的に利用しと日本でも最先端のクリーンエネルギー地域なんですよね。

中山　そうです。クリーンな天然ガスをエネルギー源とした北海道の省エネとCO2削減対応も観光資源です。もっと広く「世界」にアピールしていきたいですね。

出江　それには、日本人ならではの「侘び」の精神の本質をわかないことが大切です。「侘び」とはすなわち「正直で、慎み深く、嘘も偽り」のこと。つまりは「正直」であり、ということです。たとえば建築の素材、これをもすべて木、土、石、瓦などの正直で美しい素材にすべきです。正しい素材の建築だけが、日本ならではの「侘び」の精神に通じているのです。

中山　私も出江先生のおっしゃる通りだと思います。今の建築家は、見た目のキレイさだけに囚われすぎているように感じますね。和生的、出江　キレイとは機能的、衛生的等文明的なもの。機能を優先すると汚くなる。対して、美しいものは時を経てもなお美しく、文化へと昇華されますでしょうか。だからこそ、素材の選び、正直さに意味があるのです。エネルギーも全く同じこと。暮らしに必要なものだからこそ、正直で美しくあるべきです。そもそも、世界で天然ガスの約1/3近くの発電につかわれている、そして電気は、火力発電所から家庭へ届けられるまでに約63%のエネルギーが失われています。天然ガスなら導管以外にも、液化させて運搬すれば同様は80%にのぼる。廃棄物を用いるよりも、CO2の排出量を比較すると石炭が100なら石油は約、天然ガスなら57まで減られ、窒素酸化物も圧倒的に少ない。硫黄酸化物に至っては排出ゼロ。天然ガスこそが、正直で美しいエネルギーです。

山本　天然ガスというクリーンなエネルギーの積極的な利用は、街づくりにどのような影響を与えますか？

出江　クリーンなエネルギーの天然ガスを燃料とする天然ガス車は、黒煙を排出せず、CO2の排出も少ない。街中で、バスや宅配車をすべて黒煙ゼロの天然ガス車にすれば、非常にクリーンな街になります。近頃では「黒煙ゼロの街づくり」を実践しています。そしてこれからは、間違いなくエネルギーを役立つ家から、作る家となる。天然ガスから改質した水素による燃料電池・動力エネルギーの時代に突入しています。建築家は天然ガスエネルギーを直接、それも効率的に用いる「高効率利用」する方法についてもっと勉強してほしいですね。

中山　札幌市中央卸売市場も電気ではなく、天然ガス車による「黒煙ゼロ市場」を宣言しています。私も世界に誇る北海道の天然ガス活用をもっとアピールしていきます。

山本　中山先生が設計された小樽の「運河」をはじめ、世界遺産の「羅臼」や江差の「蔵」は、これまで無かった知恵袋の魅力というか……わざわざ消まる島に訪れるに値する魅力と感じます。

中山　わかりやすく北海道開拓資サミットでも中山の鉄道遺産を展示、多様美術大学建築科を卒業し、多摩美術大学大学院建築デザインコースを修了。1989年に株式会社ナカヤマ・アーキテクツを設立。北海学園大学法学部講師も勤める。

出江　北海道という土地は伝統に縛られていないぶん、建築に対する考え方やデザインにおける自由度や柔軟性が高くて、知られざる魅力の可能性を感じますね。

中山　おっしゃるとおりです。だからこそ、私は北海道を起点にして世界に誇る日本人の感性の高さ、を発信したいと考えて「北海道都市文化デザイン研究所」を設立しました。ジャンルを問わず北海道と本州、海外とも交流交流する場を提供します。

出江　その点、多いに結構、私も賛同として北海道との発展と、お互いにまさせていただきたい。

中山　出江先生にご協力いただければ千人力ですね。実は、来年開港予定の新千歳空港の国際線ターミナルは世界最先端のエコ空港だということをご存じですか？　鋼の芯小枝で強制される天然ガスを利用した「天然ガス型面的利用システム」により、一つのエネルギー棟から国内線と国際線2つのターミナルビルに熱と電気を供給しコージェネレーションで省エネとCO2の削減を図ります。このクリーンな空港も、北海道発の文化のひとつといえるでしょう。

エネルギーの面的・高度利用は建築家の使命

これからの建築家は、クリーンな"天然ガス"の活用法を学んでほしい

クリーンな天然ガスの面的・高度利用で最先端をゆく北海道。その知られざる魅力や、低炭素社会の実現について、出江寛日本建築家協会第10代会長と、中山眞琴北海道都市文化デザイン研究所長が語る。

中山眞琴
「芒居（ぼうきょ）」
札幌市にあるれ」近の自宅。庭と後、茶室ごとに多く異なる熱情を見せる。MOTGッドデザイン賞をはじめ、99年パルセロナWAFファイナルやWAXデザインコンテスト入選などを数々の賞を受賞。

浜江寛
「かわらミュージアム」
「はちまんかわら」の前、浦賀駅近江八幡市にあるミュージアム。連続の高い白石壁と黒い瓦のコントラストが美しい。アプローチには、幽玄大理石で被覆して開れた瓦を用い、一体感純と背景の自然者との交情をイメージして作られている。

都市ガス振興センターとは？

天然ガス、高効率機器の普及と都市ガスの保安向上を促進し、我が国のエネルギー政策、安全政策の推進と都市ガス事業の振興を図る目的で2008年に設立。当センターは、天然ガス・コージェネレーションとその熱の有効活用を組み合わせた、省エネ効果、CO2削減効果の高い「天然ガス型エネルギー面的利用システム」、複数の建物において1つのエネルギー供給源を共有する「面的エネルギー・シェアリング・システム」を積極に導入する普及啓蒙を行っている。これらのシステムは、新千歳空港以外に、東京の三井記念病院、浜松医療機構院、大阪府大学病院、新潟県長岡市消防本部、金沢空港センター等に採用されている。
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-5-19　東京虎ノ門ビル　3-3階

北海道都市文化デザイン研究所とは？

北海道の活性化を目指して、ひとつの建物ひとつに、施設、設備を共有しながら様々なジャンルの人々が勉強を重ね、交流の輪を広げ、情報交換を行い、ビジネスへと昇華させることを目的として2008年に設立。北海道の素材を提示にアピールするパティシエ吉倉穂一氏（ANPIリッツカールトンホテル&旅館業系長）等のメンバーも加えり、北海道と本州、世界を結ぶ交流拠点としての役割を担う。また、天然ガスエネルギーの開発や推進活用をはじめ、北海道から、全国のみならず世界への知識啓発、情報発信等を行っている。
〒604-0923 札幌市中央区宮の森3条4丁目3-11-302
TEL. 011-289-7575

●問合せ／一般社団法人 都市ガス振興センター 面的利用モデル事業推進グループ　03-3582-5598